

所得税では総合課税とした配当等を
住民税では分離課税とする場合
(譲渡等はなし)

区記入欄

ここには何も記入しません。

令和 00 年度分 特別区民税・都民税申告書 (特定配当等・特定株式等譲渡所得金額申告書)

該当する年度を記入してください。
例) 確定申告書が令和3年分の場合 → 「04」と記入してください。

杉並区長 宛

年1月1日現在の住所	杉並区 阿佐谷南 1丁目 15番 1号		
現住所	同上		
フリガナ	スギナミ タロウ	生年月日	S50年 1月 1日
氏名	杉並 太郎	電話番号	03 (3312) 2111
個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2	電話番号	03 (3312) 2111

該当する箇所に☑をつけてください。記入がない場合は、所得税と同一の課税方式を選択することとなりますので、記入漏れがないようご注意ください。

1 上場株式等の配当等に係る特別区民税・都民税の課税方式について、次のとおり選択します。

- ① 所得税と同一の課税方式を選択します。
- ② 住民税では、所得として申告しません。(配当割の特別徴収で課税関係を完結)
- ③ 次の表のとおり申告します。(③に☑をつけた場合のみ下記の表に記載してください。)

	配当所得等の金額	配当割額控除額(※1)
総合課税(※2)	円	円
申告分離課税	円	円

※1 支払いを受ける段階で特別徴収された住民税額。ご記入がなければ配当割額控除を受けることができませんのでご注意ください。

※2 非上場株式等の配当等があれば、上場株式等の配当等の課税方式を申告分離課税とした場合でも非上場株式等の課税方式を選択してください。

2 上場株式等の配当等

住民税上で分離課税とする配当等の所得の金額を記入してください。
(特定公社債等の利子等のみを分離課税とし、その他の配当等を総合課税とする場合は、申告分離課税、総合課税それぞれの欄に金額を記入してください)

住民税上で申告した配当等の所得から特別徴収されている配当割の額を記入してください。
記入がない場合は配当割額控除を受けることができませんので、記入漏れにご注意ください。

申告分離課税	円	円
--------	---	---

※3 源泉徴収ありの特定口座内で特別徴収された住民税額。ご記入がなければ株式等譲渡所得割額控除を受けることができませんのでご注意ください。また、源泉徴収なしの特定口座や一般口座での取引の場合、特別徴収は行われなため、申告不要を選択することはできません。

3 上場株式等に係る繰越損失の繰越控除について、次のとおり申告します。

本年度分の配当所得等から差し引く金額	本年度分の譲渡所得等から差し引く金額	翌年度以降に繰り越す金額
円	円	円

注意事項: 原則として当該年度の申告期限(3月15日)までに提出が必要です。ただし、納税通知書が送達されるまでの間に提出されたものは有効となります。ご提出にあたっては、特定口座年間取引報告書等(コピー可)を添付してください。

申告書
受付者

ここには何も記入しません。

分離課税とした配当等の所得に対して、繰越控除の適用を受ける場合は、「本年度分の配当所得等から差し引く金額」の欄に繰越控除の金額を記入してください。繰越控除の適用を受けてもなお控除しきれない金額がある場合は「翌年度以降に繰り越す金額」の欄に、翌年度以降へ繰り越す金額を記入してください。この欄に記入がない場合、翌年度以降に繰越控除が受けられなくなりますので、記入漏れがないようご注意ください。

お書きください。
選択してください。

※提出者(本人以外が記入・提出する場合)

住所	本人以外の方(親族や担当税理士の方など)が記入・提出する場合は、ここにお名前などを記入してください。
氏名	
電話番号	